

花で飾るまちづくり

トピックス・樞 vol.7

シリーズ

地域デビューのすすめ

スローライフなまちづくりの提案

北区スローライフ

「花と環境」「健康と元気」
「食と地産地消」「歴史と文化」

北区では、地域の特性と独自性を生かしたスローライフ運動を広めることを提唱し、区民の皆さんの主体的なまちづくり活動を支援しています。今回は、スローライフ宣言の4つの柱のうちのひとつ「花と環境」にちなんで、花づくりを通じたまちづくり活動『種から育てる花づくり』を紹介します。さあ、花でまちを飾ってみませんか。

種から花を育てる団体募集

北区では毎年、種から花を育てる団体を募集しています。詳しくは次のページをご覧ください。



まちをきれいに花で飾ると、見る人も楽しい、育てた自分たちもうれしい。花づくりを通じて、地域を愛する気持ちをはぐくんでいきましょう。



花苗が育ってきたら花壇に植え替え。自分たちが育てた花が地域デビューするまで、もうすぐです。



まずは自宅で種をまきます。じっくり愛情を注いで、元気な花苗に育てましょう。

種から育てる花づくり

近所の人たちに喜ばれることが何よりうれしい」と話します。

「秋桜」の皆さんは、花壇の手入れが毎日の日課。こうして、種から育てる花づくりを通して環境美化やきれいな地域づくりのための活動を続けています。

篠路コミュニティセンター（篠路3条8丁目）のすぐ横には、きれいに整備された花壇が広がっています。この花壇は、篠路地区のボランティア団体「秋桜」の皆さんが作り上げたもの。毎年、色鮮やかな花々が近くを通る人々の目を楽しませています。

人の笑顔が続ける力に



花壇の手入れ（花から摘み）をする黒畑さん（手前）



花壇作りの様子（右から3人目が松尾さん）

「こうした活動は、地域の皆さん同士の協力があつてこそなんです」と語る同分団代表の松尾敏子さんと団員の皆さんは、まちを花でいっぱいにする活動を通して、潤いのある地域の交流を進めています。

札幌市赤十字奉仕団北区太平百合が原分団では、何年も前から太平百合が原まちづくりセンター（太平8条7丁目）周辺の花壇を花で飾っています。毎年5月下旬に、地域に住む団員の皆さんが自宅で種から育てた花の苗を、何時間もかけて花壇に植え替えます。夏になつて、苦勞して種から育てた花苗がきれいな花を咲かせてくれると、喜びもひとしおだそうです。

住民同士の協力が大切